

三菱カーナビゲーションシステム

形名

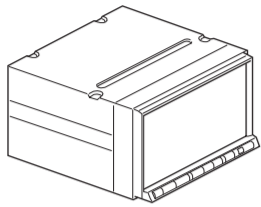
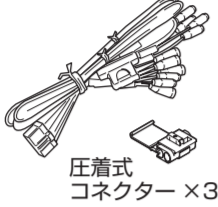







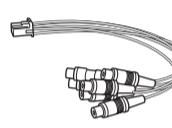
NR-MZ90PREMI シリーズ

(ナビゲーションシステム)

取付要領書

同梱物リスト

万一、内容物に不足がございましたらお買い上げの販売店にご連絡をお願いいたします。
※イラストと内容物の形状が実際と異なる場合があります。
※TVアンテナは別紙の「TVアンテナ取付要領書」の同梱物リストを参照してください。

ナビゲーション本体	高音質電源ケーブル*1	USB 接続ケーブル
		
サラネジ (M5×8)×8	カップスクリュー (M5×8)×8	クッションテープ (長)×4 (短)×2
		
クリップ (サンバイザー用)	クリップ (コードクランプ用)	GPS アンテナ
		
外部入出力ケーブル	取付要領書	取付要領書
	●保証書	●お客様相談窓口一覧表
	●VICS 約款	●地図データベース
	●地図記号について	●地図カード
	●miniB-CAS カードおよび契約約款	●ご愛用者登録ハガキ
	●シリアルナンバーラベル	●シリアルナンバー取扱説明書
	●カーナビ盗難防止チラシ	●音質調整メモ
	●チューニングブリッジ取扱説明書	●チューニングブリッジSDカード
	●openinfo サービス	

※ 1 スピーカー、電源ラインには 7N クラス高純度銅を素材とした D.U.C.C. 導体を使用しています。D.U.C.C. は、三菱電線工業株式会社の登録商標です。

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)

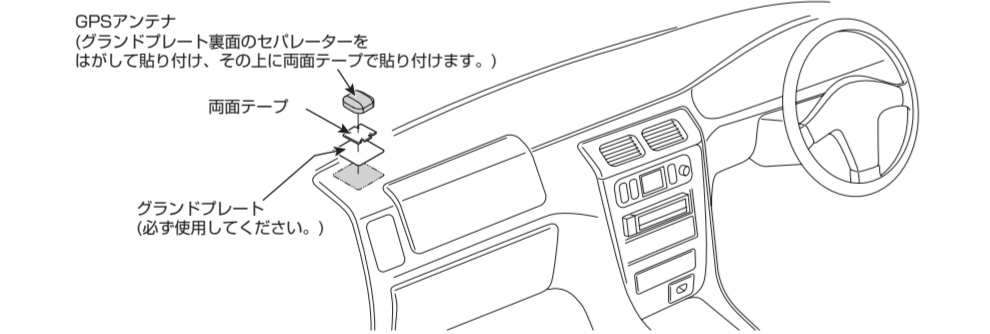
N871L69938 1/2 20-09(A2D)

③ GPS アンテナの取り付けかた

取り付け例

<フロントダッシュボードに取り付ける場合>

●GPS アンテナはダッシュボードの中央付近を避けてフロントガラスに近い位置に取り付けてください。(ダッシュボード中央付近に GPS アンテナを設置すると、センターコンソールに設置されている周辺機器からの影響で受信感度が低下することがあります。)

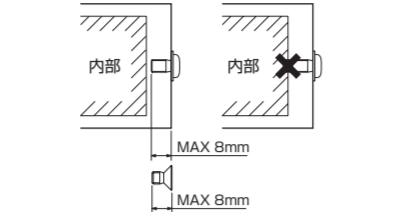


注意事項

- ※ GPS アンテナを車内に取り付ける場合、必ずグラウンドプレートを使用してください。またグラウンドプレートを小さくするなどの加工をしないでください。十分な受信感度が得られなくなります。
- ※ GPS アンテナの設置場所は、GPS 衛星からの電波がさえぎられない場所で、なるべく平らで水平な面を選んでください。
- ※ GPS アンテナケーブルは、必要に応じてクランパーを使用して車両に固定してください。
- ※ GPS アンテナケーブルの配線はテレビやラジオのアンテナケーブルから離してください。近づけて配線すると GPS アンテナの受信感度が低下する場合やテレビやラジオに妨害を与える場合があります。
- ※ GPS アンテナは、ナビゲーション本体、周辺機器およびそれらの接続ケーブルの近くに取り付けてください。近くに取り付けると受信感度低下の原因となることがあります。

① ナビゲーション本体の取り付けかた

●取り付けには、必ず付属のネジを正しく使用してください。



注意事項

※ 取り付け角度は、水平～30° の範囲で使用してください。範囲外で使用した場合、故障の原因となります。

取り付けのネジ穴について

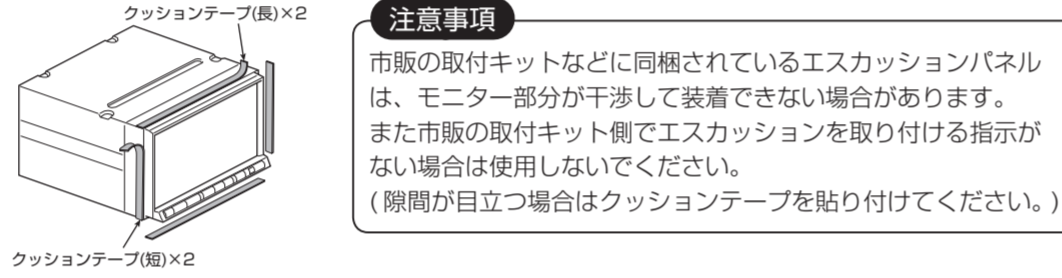
●取付基準面が適切になるネジ穴を使用してください。



ナビゲーション本体取り付けの注意点について

●ナビゲーション本体背面にはコネクターや、ファンの通風孔があるため、車両の構造や取付キットのブラケット形状によっては、ナビゲーション本体が装着できない場合があります。取り付け前に、車両および取付キットを確認してください。

●パネル開口部の隙間が広く隙間が目立つ場合は、ナビゲーション本体にクッションテープを貼り付けてください。



注意事項

市販の取付キットなどに同梱されているエスカッションパネルは、モニター部分が干渉して装着できない場合があります。また市販の取付キット側でエスカッションを取り付ける指示がない場合は使用しないでください。(隙間が目立つ場合はクッションテープを貼り付けてください。)

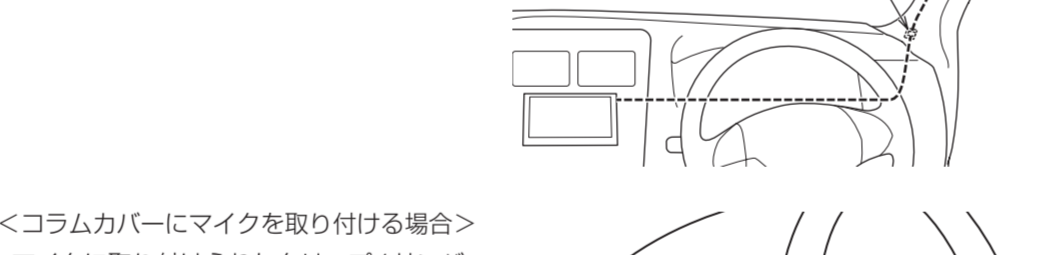
④ マイクの取り付けかた

取り付け例

<サンバイザーにマイクを取り付ける場合>

●サンバイザーを上げた状態でマイク (クリップ (サンバイザー用)) を取り付けます。マイクを発話する人の方へ向けます。

●マイクのコードをコードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



<コラムカバーにマイクを取り付ける場合>

●マイクに取り付けられたクリップ (サンバイザー用) をクリップ (コラムカバー用) に付け換えます。

●ハンドルコラム上のあらかじめ決めておいた位置にクリップ (コラムカバー用) のはくり紙をはがして貼り付けます。

●マイクのコードをコードクランプにて要所を固定しながら引き回します。



注意事項

- ※ マイクは発話する人の口元から 20～40cm の距離のとこに、口元に向けて取り付けてください。
- ※ 口元からの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると音声拾いにくなります。
- ※ コラムカバーに取り付ける場合、メーターなどの視界を妨げず、ステアリング操作などに支障のない位置を選んでください。また、貼り付け面の汚れや油分、水分を拭きとってください。
- ※ マイクと発話する人の間に障害物があるような取り付けは避けてください。
- ※ マイクが口元に向いていないと、車内の騒音が大きいときに音声を拾いにくなります。
- ※ サンバイザーを下げた状態ではマイクが発話する人の方を向かないため音声を拾えません。
- ※ マイク取付位置はサンバイザーを推奨します。(コラムカバーに取り付けた場合は、一部の車種で振動、騒音などの影響により十分な性能が得られないことがあります。)

取り付け例

<車両側ブラケットで取り付けの場合>

●既設の車両側ブラケットを用いて取り付けます。年式、車種、グレードにより、専用取付キット (市販の取付キット) が必要な場合がありますので別途販売店にご相談ください。

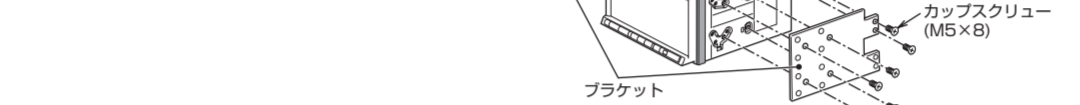
<トヨタ車に取り付ける場合>

●エスカッション (市販のエスカッション) を用いて取り付けます。



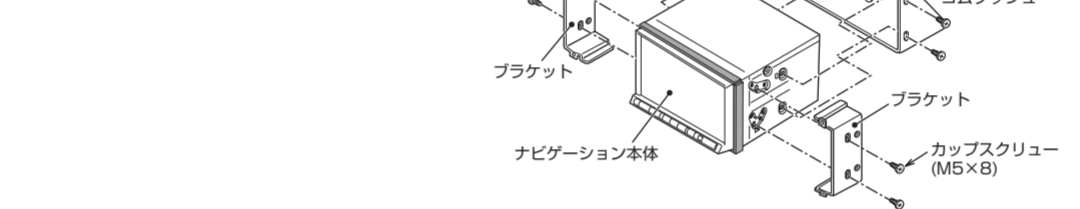
<ホンダ車に取り付ける場合>

●標準取付キット (市販の取付キット) を用いて取り付けます。



<マツダ車に取り付ける場合>

●標準取付キット (市販の取付キット) と、マツダ専用ブラケットを用いて取り付けます。



車種によっては、モニター部開閉時に取り付け用ネジ穴の遊びによりモニター上面部がセンターコンソールに干渉する恐れがあります。その場合はナビゲーション本体を取付ブラケットに対して下側によせて取り付けてください。

⑤ 接続確認のしかた (動作チェック)

ナビゲーション

1) 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーを <ACC> または <ON> にする

2) 動作チェックを行う
INFO キーを押し、**設定** → **システムの設定** → **車両取付確認** → **車両信号チェック** を選び各項目の動作チェックを行ってください。(画面の見かたは付属の「取扱説明書」の「車両取付確認」をご参照ください。)

3) GPS 測位を確認する
INFO キーを押し、**設定** → **Navi の設定** → **自車位置の補正** → **自車位置情報** から GPS が測位していることを確認します。GPS 受信まで数分かかることがあります。(表示内容については「取扱説明書」の「自車位置の補正」をご参照ください。)

各項目のチェック結果で NG となった場合は、必ず車両を安全な場所に停車し、取り付け・配線をもう一度確認してください。

4) 車速・ジャイロの初期設定 (自動) を行う
見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行ってください。

5) 初期設定を確認する
INFO キーを押し、**設定** → **Navi の設定** → **自車位置の補正** → **センサー補正状況** を選び画面を確認します。(センサー学習情報の確認は「取扱説明書」の「自車位置の補正」をご参照ください。)

※手順 5) で車速/リルス数の表示が「-----」のときは初期設定が完了していないか、車速信号の取り出しが正常でない場合が考えられますので、接続を確認した後、手順 4) ~ 5) を繰り返してください。

※ 初期設定中は、自車位置マークが正しく動かないときがあります。
※ 車種・年式・エンジン型式により車速/リルス数が異なりますので、ナビゲーション本体を別の車両に積み変えた直後は実際の移動距離と異なることがあります。また、タイヤを交換された場合も同様です。

自車位置精度と自動補正について

●自車位置精度は上記「接続確認のしかた (動作チェック)」による初期設定完了後、GPS の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行しますと車速自動補正が働き、交差点で右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで自車位置精度が徐々に向上していきます。(自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働き易くなります。)

② 車両の信号の接続

車速信号の取り出し方

<車速信号の取り出しについて>

●車速信号は主にエンジン電子制御装置 (ECU) に接続されている車速信号ケーブルから取り出します。これはエンジン電子制御装置が主に室内に取り付けられていて、車速センサー回路から直接取るよりも場所の確認など配線作業が容易に行えるためです。

<車両側車速信号ケーブルの位置>

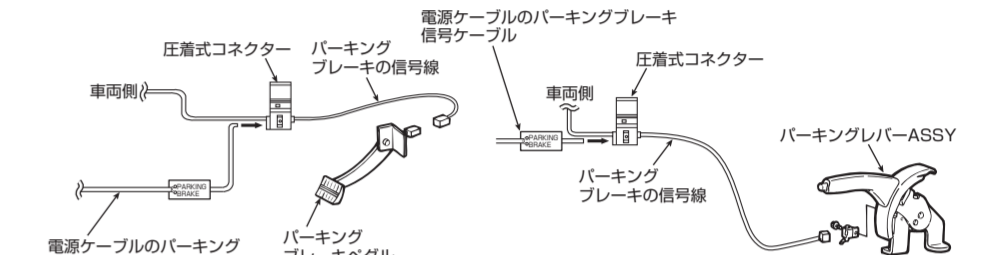
●車種、年式、エンジン型式の違いにより異なります。車速信号に関するお問い合わせは、お買い上げ店または、別紙お客様相談窓口一覧表に記載の代理店にご相談ください。

注意事項

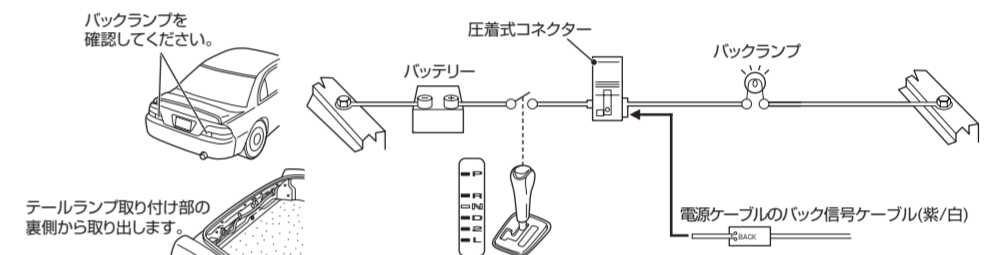
配線終了後「接続確認のしかた (動作チェック)」をご覧ください。車速信号が確実に取り出されていることを確認してください。車速信号が取り出せない場合、本機は正常に動作しません。

パーキングブレーキ信号の取り出しかた

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。



バック信号の取り出し方



⑥ カメラの設定

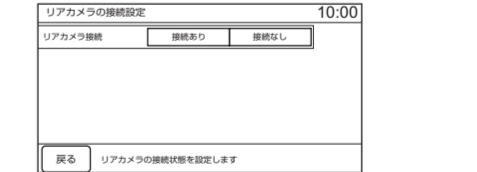
※ 別売のリアカメラまたはフロントカメラ、サブカメラを本機に接続した場合に以下の操作を行います。

リアカメラの接続設定

この操作の後、必ず裏面の「リアカメラを取り付けた場合の設定」を行ってください。

当社製リアカメラ BC-20M を取り付けただ場合は、以下の操作は不要です。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **リアカメラの設定** にタッチする
- 4) **リアカメラの接続設定** にタッチする
- 5) **接続あり** にタッチする

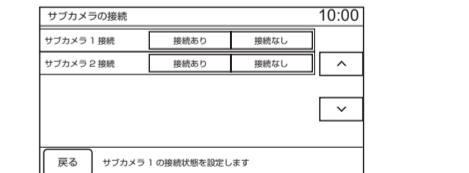


リアカメラの使用が可能となります。

サブカメラの接続設定

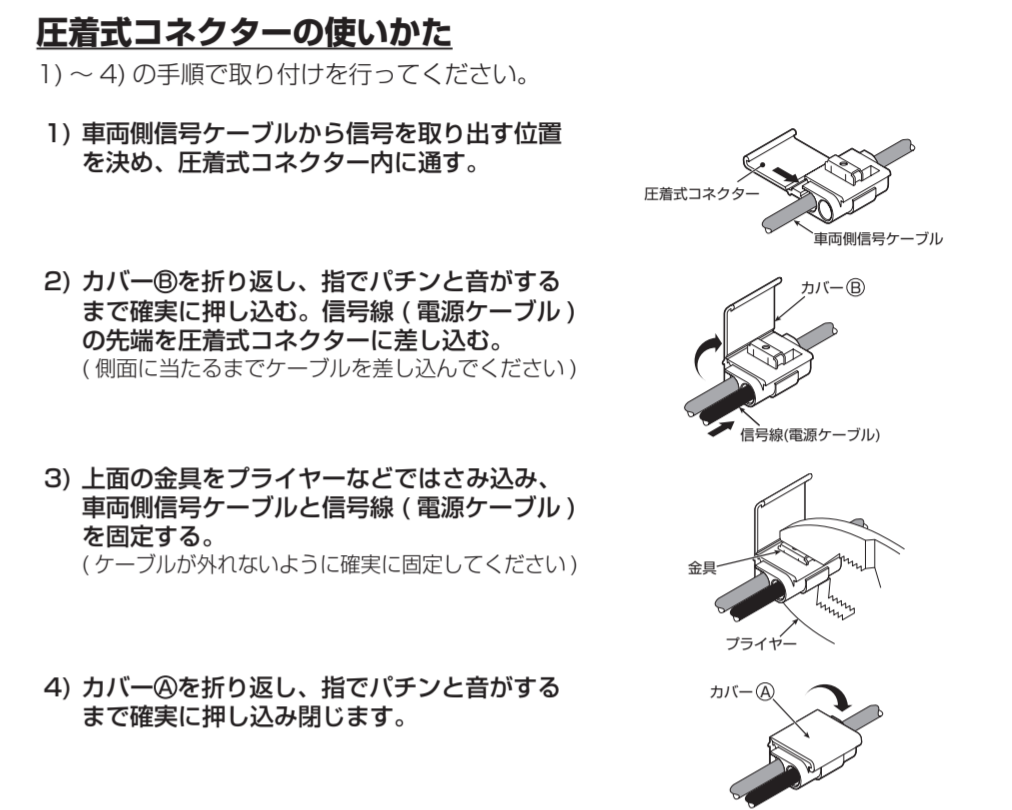
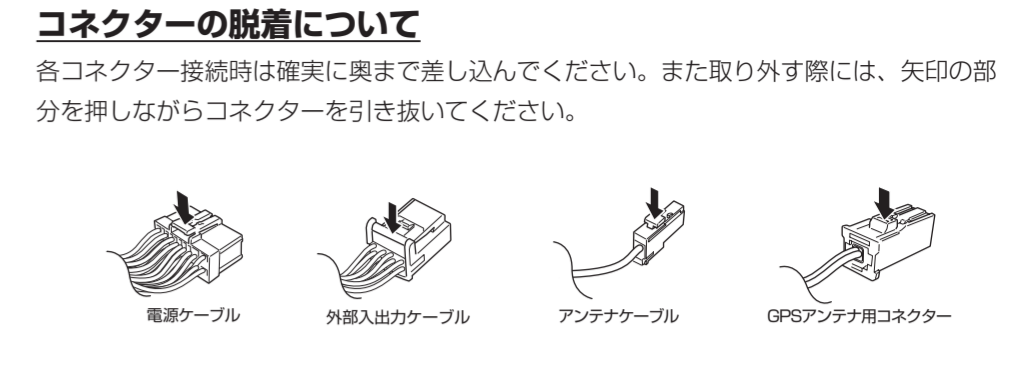
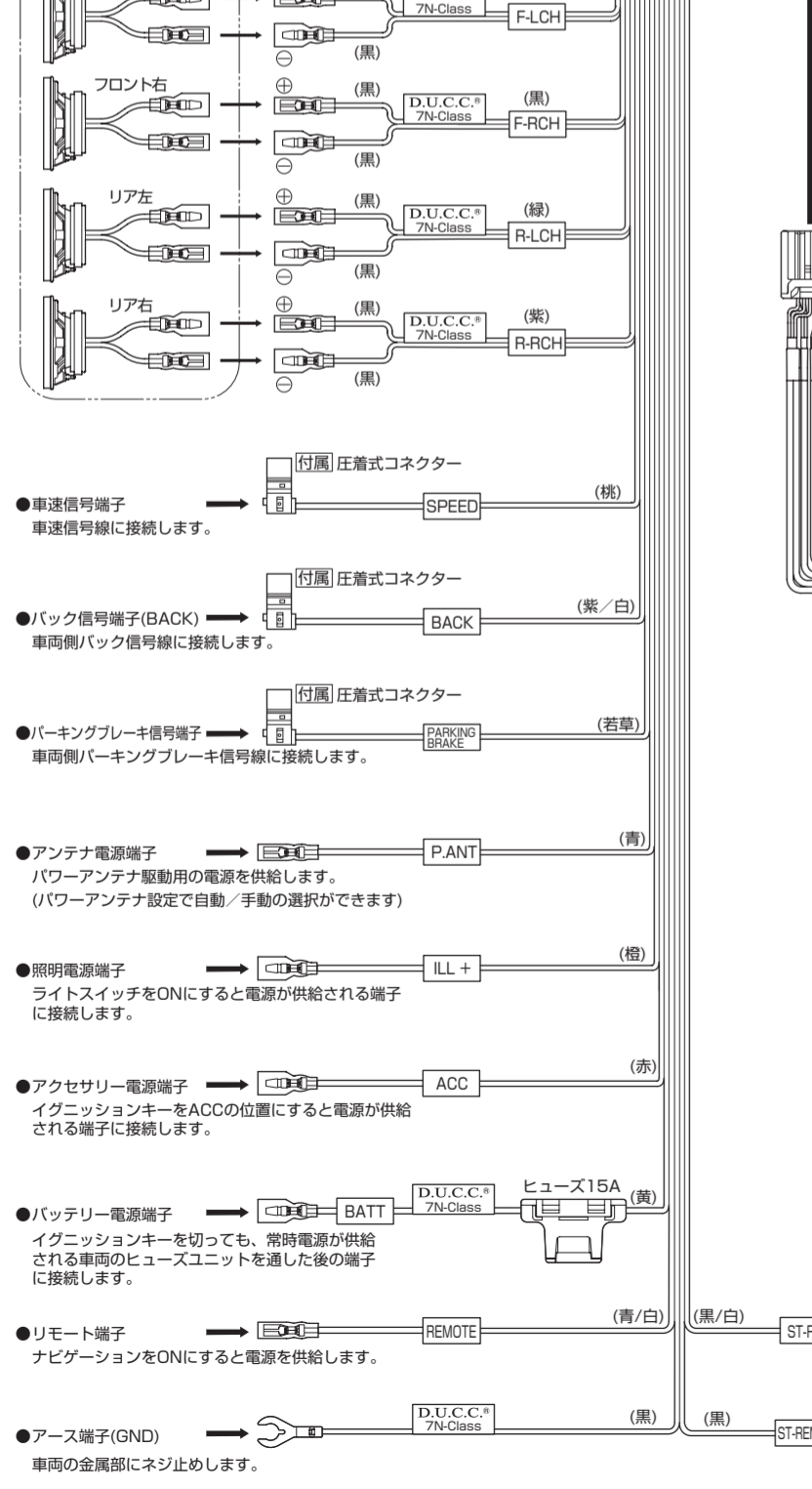
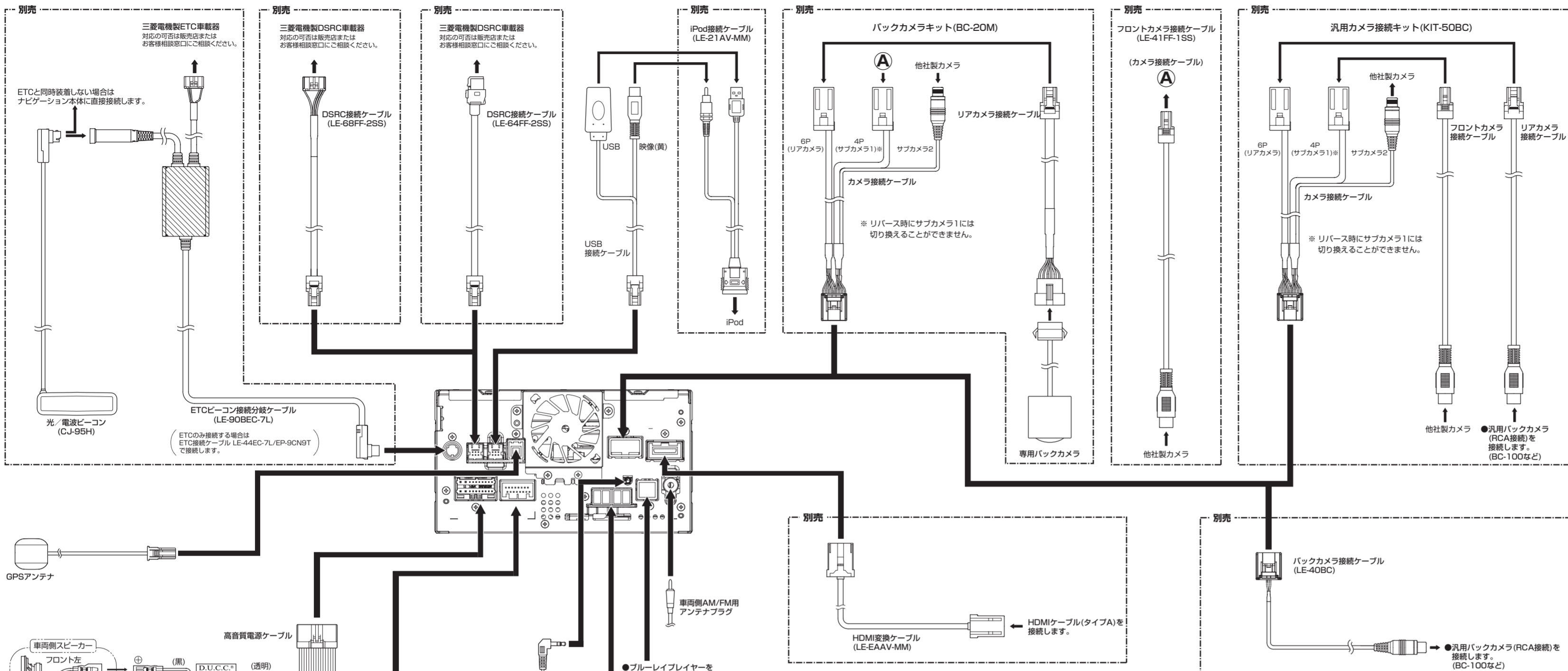
サブカメラ 1 またはサブカメラ 2 の接続設定を行います。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **サブカメラの設定** にタッチする
- 4) 接続したサブカメラの **接続あり** にタッチする



サブカメラの使用が可能となります。

接続図



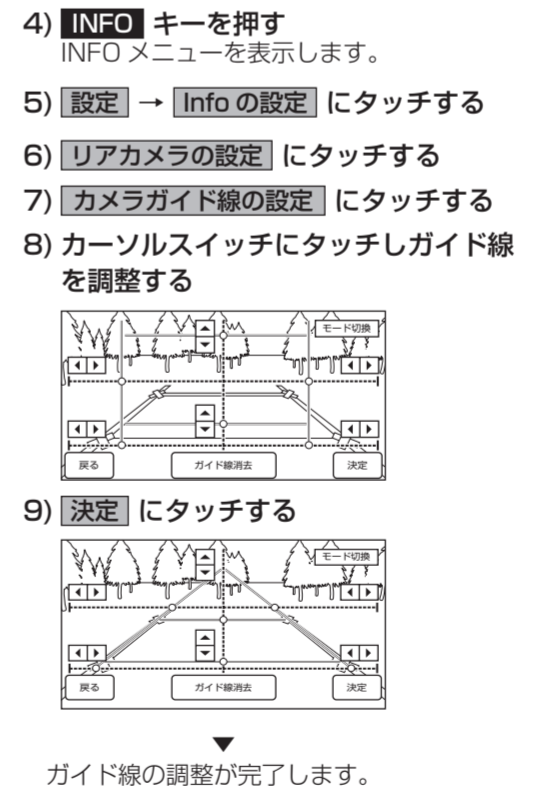
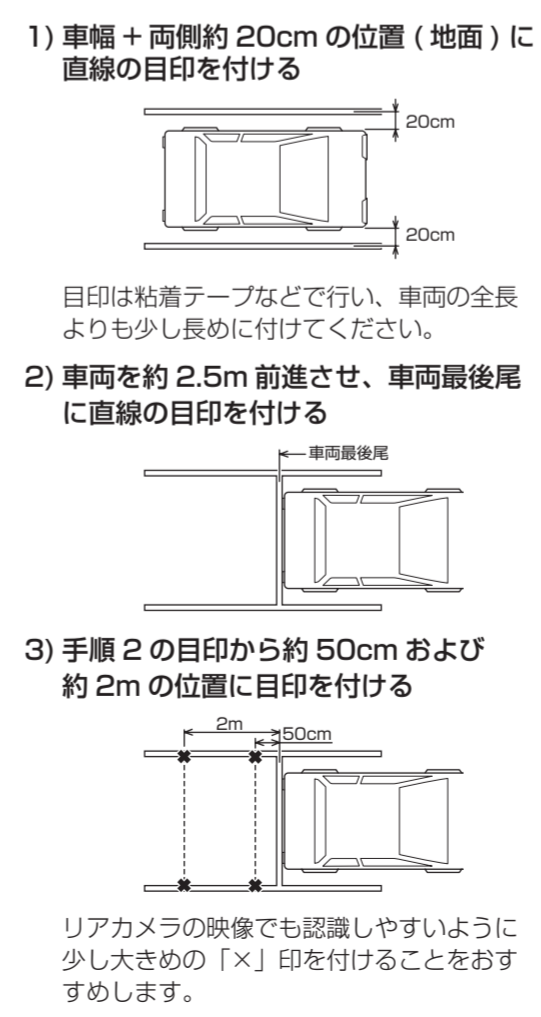
リアカメラを取り付けた場合の設定

ガイド線の調整

リアカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整できます。

注意事項

- ※ 調整する際は、駐車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- ※ できるだけ、水平な場所で行ってください。
- ※ 目印を付けるときは、必ずエンジンを切ってパーキングブレーキをかけて行ってください。



当社製リアカメラ BC-20M の場合
この後、[モード切換]にタッチしてカメラモードを切り換え、手順 4～手順 9 を繰り返し、各モードのガイド線を調整してください。

アドバイス

- ※ ガイド線が表示されていない場合は、[ガイド線表示]にタッチしてください。
- ※ 左右のオレンジ線と緑線は、手順 1 の目印を目安に位置や角度を調整してください。
- ※ 画面下の青線は、手順 3 の目印の車両最後尾から 50cm 離れた位置を目安に調整してください。
- ※ 画面上の黄線は、手順 3 の目印の車両最後尾から 2m 離れた位置を目安に調整してください。

レーンアシストの設定

カメラの取付環境の入力や映像などの補正が行えます。

- 1) **INFO** キーを押す
INFO メニューを表示します。
- 2) **設定** → **Info の設定** にタッチする
- 3) **レーンアシストの設定** にタッチする
- 4) [取付カメラ設定]の **未実施** にタッチする
※ 2 回目以降の設定では [設定済み] にタッチしてください。
- 5) “設定する項目” にタッチする
- 6) **決定** にタッチする
- 7) [レーンアシスト]の **使用する** にタッチする
- 8) **決定** にタッチする

カメラの設定が完了し、[未実施]から[設定済み]に変わります。

レーンアシストの設定が完了します。

項目	設定値	単位
カメラメータA	100cm	cm
カメラメータB	50cm	cm
カメラメータC	100%	%
カメラメータD	1	段階
カメラメータE	100	段階

設定内容について

カメラ設置位置: 高さ*	地面からカメラレンズの中央までの高さを入力します。50 ~ 200cm の範囲で入力できます。(工場出荷時は 100cm)
カメラ設置位置: 左右位置**	車両幅の中心を 0 としたカメラの中心までの距離 (ズレ) を設定します。- 125 ~ 125cm の範囲で入力できます。車両進行方向に向かって “+” が右側 “-” が左側になります。(工場出荷時は 0cm)
カメラパラメータ A カメラパラメータ B カメラパラメータ C カメラパラメータ D	※ 各値は、三菱電機ホームページで公開しています。
車幅	自車の車幅 (車検証の値) を設定します。100 ~ 250cm の範囲で入力できます。(工場出荷時は 169cm)

※ 1 以下の設定範囲でレーンアシストを動作させることを推奨します。
高さ: 70cm 以上、左右位置: ± 30cm 以内
実際のカメラ設置位置が上記の推奨設定範囲内に収まらない場合は、レーンアシストが正常に動作しない恐れがあります。